

## 令和3年度 第2回葛飾区男女平等推進審議会 議事録

日 時：令和3年9月13日（月）午後2時00分～午後4時00分

会 場：葛飾区男女平等推進センター 多目的ホール

出席者：大山委員、岡村委員、戒能委員、齋藤桂三委員、坂井委員、

佐々木委員、島野委員、鈴木委員、津村委員、谷茂岡委員、柚木委員（五十音順）

ZOOMでの参加者：黒崎委員、齋藤真弓委員、杉江委員、谷本委員、千田委員（五十音順）

17名出席

事務局：坂井総務部長、藤井人権推進課長、加藤男女平等推進係長、木村人権施策推進係長、

男女平等推進係員2名

株式会社創建1名

傍聴者：なし

欠席：鷹委員

議 題：

（1）第1回審議会のご意見等のまとめについて 資料1

（2）第6次葛飾区男女平等推進計画（原案）の検討 資料2

<事前送付資料>

資料1：葛飾区男女平等推進審議会（第1回）のご意見等

資料2：葛飾区男女平等推進計画（第6次）（原案）

資料3：令和2・3年度葛飾区男女平等推進審議会 開催日程（案）

<当日机上配布資料>

・葛飾区男女平等推進計画（第6次）（表紙案）2部

・講座チラシ

### 1 開 会

### 2 議 事

（1）第1回審議会のご意見等のまとめについて

（2）第6次葛飾区男女平等推進計画（原案）の検討

事務局より資料1、2について説明

会 長：ありがとうございました。資料1については質問、ご意見があったことに対して、現段階で情報提供して下さる点については、口頭でご説明いただきました。第6次計画案の原案については、計画の背景のところ、葛飾区の事例を入れていただいております。計画の内容については、国際的な視点を重視ということから27ページ、男女共同参画の推進ということ、毎年順位は変わりますが、現在は120位、G7の中では最下位ということで、甚だ

問題のある位置を占めているわけですので、表示したということです。あと貧困の問題など、生活困難を抱える人々への取組というところで、これも葛飾区のひとり親の状況を、データとして、初めてですね、計画の中に入れました。それから雇用者数の推移、これも大事なデータだと思います。あとは概念の問題で、多様性の尊重というところで、56 ページにLGBTの表示について、説明がございました。ご議論いただくのは、今日が最後になります。11月に区長にご報告をすることになりますので、時間に限りはございますが、文言、表現を含めて、ご質問なり修正のご意見がありましたら、皆さんから出していただきたいと思います。今日はそれがメインですので、出来るだけ時間を取って、取組をお伺いし、修正し得る点はして、という風に思います。どなたからでも結構です。ご意見、ご質問お願いいたします。

委員：56 ページの目標4「互いの人権を尊重し、平等な社会を実現します」の重点課題として「多様性の尊重」とあり、こちらはセクシュアルマイノリティを具体的に出しているんですが、施策の方向の2で「互いの個性や多様な生き方を認め合う人権尊重の意識づくりに努めます」というのがございます。多様性の尊重というのは、セクシュアルマイノリティだけではないと思います。葛飾区にもたくさん外国人の方が生活されていると思うので、多様性の尊重の視点の中に、葛飾区に住んでいる外国人のことを少し入れられないかと思いました。

会長：LGBTの問題が典型的なものなので、それが取り上げられておりますね。20、21 ページの計画の体系を見ると、全体像が見えます。今、目標4は性の多様性の問題のように見えますが、外国籍や障害のある方などのことも、施策の方向の59 ページの囲いの中に一言入れられないか、ということですね。

事務局：多様性につきましては、外国籍の方をはじめ、高齢者や障害者、生活習慣や文化の違いなど色々な範囲に及んでおります。性の多様性については1つ切り抜いて記載しておりますが、その他についても多様性の尊重というところで、互いの個性や違いを認め合う施策というところで一括りにさせていただいております。委員のおっしゃる外国人の方を書くとなると、その他の方々のことも文章や図などで葛飾区の現状をお示ししていくことになりますので、どこまで書いていくのか、という課題はあると思います。

委員：文言を付け加えることは、そんなに難しいことではないのではないか、と思いますが。日本はまだヘイトがあり、外国籍の方も尊重する、ということ、葛飾区だけでも入れて欲しいと思いました。

会長：59 ページの枠の中は、現在予定している、具体的な事業を書いています。その中に、残念ながら多文化共生のテーマは入っていなかった、ということだと思いますが、ただ今後、ますます必要になってくることだと思いますので、今後の課題としても良いと思います。「外国籍」ではなく、もう少し一般的に「多文化共生」とか、そういう抽象的な文言を使っても良いと思います。以前審議会で問題になったのは、事実婚の人のことですね。「多様な」といったとき、セクシュアリティの問題だけではなくて、そういう、私生活の生き方の問題、選択の問題も含めると良いのではないかと、という意見がありました。もっと幅が広いんだ、色ん

な問題があるんだ、ということをし。別にデータを出さなくても良いと思います。一般的、抽象的で良いので「多文化共生」とか、「自由」とか「多様な生き方を尊重する」とか。そういう文言で、少し具体的な方に、これは今すぐ講座をやらないとしても、今後の課題として、というような意味合いで入れていった方が、計画としても幅が広がるのではないかと思います。いかがでしょうか。

委員：私も 56、57 ページを読んだ時、同じように感じました。「多様性」と言いながら、ここの計画の中では、LGBT の話に特化されているという印象があります。ただ、57 ページの文章の最後のところで、「今後は」と含みを持たせているので、事務局の方もこちらの方で今後の課題としてお考えになっているんだな、と分かりましたが、今、委員からご指摘があったように、もう少し書き込めると良いのかな、と思います。「多文化共生」でも良いですし、「人種、国籍や障害の有無に捉われない」とか、もう少し膨らませることが出来るのではないかな、と今の議論を聞いて思いました。

事務局：多様性の尊重というところで、様々な図を追加するとすると、なかなか難しいかと思いましたが、いくつか代表的なものについて、57 ページの「今後は、」の文章の後に少し書き込むのであれば、事務局の方で文案を作成させていただきまして、委員の皆様にご確認いただき、11 月の計画に反映させていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございます。それでは他のご意見いかがでしょうか。

委員：質問ですが 56 ページの「互いの人権を尊重し」というところですが、先程事務局の方から LGBT と LGBTs の用語についての説明がありましたが、こちらの認識としては、LGBT という言葉はもう世の中にある程度広まってきているので、基本的には LGBT を利用するけれども、59 ページの施策の方向 1 の中にある「性自認・性的指向に関する相談」、こういうものは LGBT で完全に 4 つには区切れない形で色々な悩みが発生することが多いので、こういった場合には、より広くという意味で、LGBTs を使うという解釈でよろしいでしょうか。42 ページの課題③生涯を通じた健康支援のところ、以前の会議でも申し上げたと思いますが、女性はライフステージによって様々な変化があって、それが色々な健康の不安や悩みの元になります。この中で、施策の方向 2 に入れるのが適切なのかどうか分かりませんが、折角この課題 3 の上から 5 行目に「女性は出産や更年期など、ライフステージによる変化が大きく」とうたっているんで、例えば、アラフォー、アラフィフぐらいの、そういうホルモンバランスの乱れやすい更年期の人などのために、何か企画していただけたらと思います。今回配布された資料の中に、ママのための講座というのがありましたが、その中に女性ホルモンの話をしてもらったので、今後の課題として、こういった中高年の女性に対しても、何かそういったものを企画していただけたら、と思います。

会長：ありがとうございます。ご質問とご意見、事業に関してのご要望ですね。40 代、50 代などが抱える問題についても講座の企画などしていただきたいというご要望ですが。いかがでしょうか。

事務局：最初のご質問は、委員のおっしゃるとおり、LGBTとLGBTsにつきましては、LGBTは性的マイノリティの方の総称として一般的に使われている言葉で、LGBTsにつきましては、区としてその方々の専門相談をする際には、LGBTに限らず、それ以外の方もご相談に対応するという、広く捉えるという意味で「s」をつけて使っていく、ということでございます。42ページの、更年期の方々のための講座を今後やっていっては、というご提案ですが、こちらについては「性と生殖に関する健康と権利」に関する講座、に該当すると思っておりますので、今後この部分については、色々な講座を企画していくよう、事務局の担当に伝えておきます。ありがとうございます。

会長：女性のライフステージというのは、若い時だけではありませんので、そういった課題を意識して講座を企画して欲しいという、貴重なご要望でした。ありがとうございます。他にございませんか。

委員：1つ目は、20、21ページの計画の体系のところですが、この重点分野を定めた背景や理由については、どこかに載せられているのでしょうか。会議に出たので、力を入れたんだな、というのは分かるんですが、初めてこれを読んだ人には、なぜこれを重点的にやっていくのか、というところが、もしかしたら伝わらないのではないかと、思いました。2つ目は、53から55ページのところです。格差が拡大している理由としてコロナウイルスのことが書いてありましたが、それ以外にも、今回のコロナウイルスの拡大で、従来の中場を中心とした集まり、講演会など人を集めて何かをするといった、場を中心とした集まりには限界があるのではないかと、ということ。あとオンライン活用が、このような会議もそうですし、一気に進んだという点が考えられます。従来の中場であるとか、啓発紙を作る、紙を配るといった媒体にこだわらないで、新しいメディアでの発信にトライして、認知や参画を進めていく、ということ、もうちょっとどこかに押し出していても良いのではないかと、思いました。ここに入れると良いかな、と思った場所は60ページの推進体制の辺りです。こういう風に推進していくんだ、ということで、コロナウイルスの影響でこういうことが起きた、ということを追加しても良いのではないかと、思っています。実際に今日のチラシのイベントでも、オンラインで行うと書いてあり、取組としてトライしているのは事実ですので、そういったところをトライアンドエラーしていけば、すごく良いものが出来ていくので、是非ここは積極的にやっていくんだ、という計画にして欲しいと思いました。3つ目は60ページ、課題1の下のところ「男女平等・男女共同参画の実現に向けた計画の推進にあたっては、施策の進捗状況を定期的に評価し」とありますが、具体的に、「年度ごとに」と入れてはどうかと思いました。しっかり総括をして次に進めていこう、という方針で、基本計画にも書かれていますので、こちらもそれに従って、年度ごとに進捗を見て、改善なり、更に重点化するなり、とした方が良いと思っております。その後「取組みを推進することが求められています」とありますが、「求められています」というのは、どうも他人事のような気がします。求められているけれど、やる気はあるのか、というところで、弱い気がしますので、「取組を推進します」とか、もっと強く。特に重点分野についてはそうですし、色んなところで「求められています」とありますが、本当にやるのか、というのが区民としては気に

なるところですので、意欲を是非文章に落とし込んで欲しいと思います。

会 長：ありがとうございました。3点ご指摘がありました。1つ目の、どのような背景で重点項目としたのか、という直接の説明はどこかにありますか。

事務局：直接的に6次計画書の中に説明は入れていません。

会 長：一言どこかに入れられると良いと思いますが。

事務局：では重点の背景につきましては、22, 21 ページの体系図に載せるか、それぞれのページのところで書き込むか、持ち帰りさせていただいて、11月の前に皆様に見ていただくということよろしいでしょうか。

会 長：スペースがギリギリかも知れませんが、体系図にあった方が分かりやすいと思います。2つ目の、ツールの問題は大きいと思います。SNS相談とか、オンラインの方が参加しやすいので、今後はオンライン形式の講座を積極的に企画していくというのを、推進体制のところに入れられると良いと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

事務局：オンラインについての話を60ページの推進体制の強化のところに加えた方が良いのでは、というご意見ですが、それにつきましては、確かに様々なツールが増え、コロナ禍の新しい生活様式で実際に行っておりますので、ご意見を踏まえまして、60ページも書き方を少し変えていきたいと思います。

会 長：特に若年層が中心かも知れませんが、若年層に限らず参加しやすいというところが大きいと思います。今、もう皆慣れてきて、かえってその方が発信しやすいと思いますので、ぜひ60ページの文言に組み入れていただけたら、と思います。あと、行政の慣用句のような「何々することを求められています」という表現、これもご検討いただけますか。

事務局：こちらの文言につきましては、意識と実態調査から見る課題をここに書いておりますので、事務局としましては、こういう風な数値で見てとれるので、推進することを求められているのではないかと、いうことを踏まえて書いております。組み立てとしては、ここの文言を変えることは考えておりません。「定期的に評価し」という言葉につきましては、委員のご指摘通り、基本計画にも書いてありますし、いつということも分かりやすくなりますので、その表記は変えさせていただきたいと思います。

会 長：意識調査からこういうことを求められているんだ、という文脈だということですが。いかがですか。

委 員：分かりました。では、入れていただけたところは、よろしくをお願いします。

会 長：それでは他の方どうぞ。

委 員：頭から読んでいきますと、まずは新型コロナウイルスの位置づけや状況というのを、ここの中でどう反映させるのか、ということがすごく気になりました。最初に新型コロナウイルスという文言が出てくるのが、6ページのDV相談体制の拡充のところで、その後出てくるのが53ページくらいだと思います。要するに、今この計画の元になっている区民の意識調査、これの実施時期が令和2年6月25日から7月13日で、それを元にこの計画が成り立っています。つまり、第1次緊急事態宣言が解除された後くらいの、そんな状況で行った調査結果がここに生きている、というような位置づけを、どこかでしておいた方が良いのではないかと、思いました。後からこれを読み直した時に、そのような時代、状況の中で調査が行われ、それを元にこの計画が立てられたんだ、ということが、どこかで分かるように書いておいた方が良いのではないかと。これは全体に関わる事なんですけど、気になりました。DVのところで「新型コロナウイルス」と出てくるんですが、ひょっとしたら最初の「はじめに」とか、序論のところを持ってくるものかもしれませんので、そこはご検討いただければと思います。53ページのところで細かい文言ですが、DVのところでは「新型コロナウイルス感染拡大に伴う」という表現だったのですが、ここの3行目では「新型コロナウイルス感染症は」と書いてあるので、これもご検討いただければと思います。あと、差し込んで下さいました図の25についてですが、これはすごく効果的だと思いますが、これを入れるような時は、やはり新型コロナの話というの、どこかでしておいた方が良いのではないかと、思いました。図26に関しては、ちょっと図が見にくいので、男性と女性、何らかの形で分けるような工夫があると良いと思いました。56ページの多様性の尊重で、SDGsとさらっと書かれていますが、ここも説明があった方が良いのではないかと、思いました。

会 長：ありがとうございます。いくつかご指摘がございました。調査自体がコロナ禍で行われ、かなり社会が変わっていく中で、女性の状況も変わっていった、というところを背景に策定されたんだ、ということ、一番おさまりが良いのは、やはりはじめに区長が書いて下さるところでしょうか。どういう歴史的な位置にあるのか、きわめて特殊な状況にあって、葛飾区はこういう風に考えて、こういう施策を進めます、ということ、是非。それだけ重要なんですよ、ということ、区のトップの方に書いていただければと思います。表現の違いについては、感染症自体を指すか、拡大したことを指すか、の違いでしょうか。25、26の説明も入れられるでしょうか。

事務局：はい、入れられます。コロナの部分については、区長の前書きのところに、というお話でしたが、合わせて4ページの、計画の背景の最初のリード文のところで、少し触れてから、他のところに繋がるように書かせていただきたいと思います。53ページの「新型コロナウイルス感染症」は、「感染拡大」ということで、文言を整えたいと思います。図の26については、見やすくするよう修正を加えていきたいです。

会 長：元々の表が見にくいですね。これを見て、女性にどういう影響を与えているかが見えないので。正規と非正規、男女での違い、もう1度これは他に適切なものがないのか、も含めてと

と思いますが、棒グラフに色の違いをつけてみるとか。

事務局：図 26 は、この図しかないので、書式を変えてみたいと思います。SDGs の文言については、注釈にするか本文に入れるかは事務局で検討させていただきたいと思いますが、いずれにしても説明の方は追加したいと思います。

会長：よろしくをお願いします。それでは他にいかがでしょうか。

委員：図 25 ですが、もし追記が出来るのであれば、ちょうど 2020 年 3 月にグラフを作成しているので、今見れば分かるんですけども、ここに緊急事態宣言だとか、そういう注釈を入れていただいた方が見やすいと思いました。

会長：1 番下の辺りに付け加えるということですね。他にいかがですか。

事務局：すみません、本日欠席されている鳳委員から、計画原案についてご意見をお預かりしております。まず 27 ページのジェンダーギャップ指数の表記で、現在の表記では「主要 7 か国中最下位」という文言を加えておりますが、パッと見た時に、「世界で 7 番目」の順位のように見えてとれるので、世界的に低いことを伝えたいのであれば、その辺の文言は全て削除し、日本が世界的に見て低い順位が続いています、という形にして、合わせて下の補足説明等に、最新のジェンダーギャップ指数で日本の順位は何位だ、という風に見せた方が効果的ではないか、というご意見をいただいております。事務局としてもそのような形で、「主要 7 か国」から「比較しても順位は低く」までの文言は削除して、「日本は世界的にみて低い順位が続いています」のみの文章にして、下の補足説明に「ジェンダーギャップ指数 2021 の日本の順位は、156 か国中 120 位です」と追加したいと考えております。それから 53 ページの、生活上困難な状況を解消するための取組促進で、コロナ禍での女性に対する影響に関する文言を追加させていただいたところですが、記録という意味も合わせて、区が実施した女性への支援の取組があれば追加してはどうか、というご意見をいただいております。葛飾区ではコロナ禍による女性に特化した支援として、今年 4 月に、区と東京都の防災用の備蓄品を活用して、生理用品の無償配布を各部で連携して実施いたしました。事務局の方で検討して、9 行目のところに「経済的な理由などにより、生理用品を購入出来ない、いわゆる生理の貧困、こういったことも問題になりました。地方公共団体で防災備蓄品を活用して生理用品を無償配布するなど、本区においても令和 3 年 4 月に取り組みました」という文言を追加したいと考えております。合わせてご審議いただきますよう、お願いいたします。

会長：ありがとうございます。2 つのご提案ですが、ご意見いかがでしょうか。よろしいですか。それではそのように修正をお願いいたします。後はございませんでしょうか。今日ご発言がなくても、いつ頃までなら、事務局に出したら間に合うでしょうか。

事務局：今日の審議会が終わった後、皆様の方から追加でご質問、ご意見等があればお寄せいただくことも可能です。その後、会長の方にも相談させていただきまして、11 月の答申でお出しす

る計画の方にどこまで含められるかと、今日お預かりしている修正点についても反映させていきたいと思いますので、1週間くらいでご意見等いただければ、その作業を進めていけると思いますので、よろしくお願いいたします。

会 長：ありがとうございます。1週間後だと忘れてしまうので、今日明日中でも、もしどうしてもここは、ということがございましたら、ご質問でも結構ですので、事務局の方にご連絡いただければと思います。はい、どうぞ。

委 員：44ページの課題①あらゆる暴力の根絶の文章で、2段落目の真ん中の「DVの防止及び被害者支援のために」からは、被害者支援のために必要な話が入っています。図18の説明がここに入り込んでいますが、必要な対策の話は、2つ後の「新型コロナウイルス感染症の影響による」という段落になるので、「デートDVなど色んなDVが問題になっています」の後に入れた方が、流れが良くなると思います。

会 長：話の筋道ですね。いかがでしょうか。

事務局：文章の流れを整理させていただきたいと思います。今日持ち帰り、またご相談させていただきます。

会 長：ありがとうございました。他にいかがでしょうか。はい、どうぞ。

委 員：44ページの下から3段目のところに、相談件数は増加傾向にあります、と書いてあるのでつい心配してしまって。暴力がエスカレートして悩んでいるのではないのでしょうか。それで相談件数が多くなっているのでは。それじゃあどうするんだ、ということを書かなければいけないと思います。相談件数が増加傾向にある、と書いてあるだけでは不安になります。

会 長：増加しているのに何も対応していないんじゃないか、ということですね。増加が懸念されることから、区の対応なども。

委 員：全体的にここだけはやってほしい、ということがあれば後で事務局さんに言えば良いんですね。「求められています」じゃなくて、どうしても強く言いたいところは、後で言うということですね。

会 長：ありがとうございます。意識調査から引いているので、どうしてもそういう表現になりますけれども、基本計画としてこれはやりますよ、とかですね。

事務局：では、44ページのところは今いただいたご意見も合わせまして、事務局の方で検討させていただきます。



会 長：全体に見直しをして下さい。ありがとうございました。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。どうぞ。

事務局：ご質問、ご意見の方がこれで終わりでしたら、今日机上配布させていただきました、男女平等推進計画（第6次）の表紙の案が2つございます。縦書きになっておりますが、横書きでイメージしていただければと思います。皆様の方で是非選んでいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会 長：どちらがよろしいでしょうか。手を挙げていただきたいと思います。

事務局：5次の計画はこういったシンプルなデザインで、オレンジを基調に。今回、意識と実態調査から、6次に関わるものは緑をベースに考えていきたいと思いますので、今回2案ご用意させていただきます。

会 長：オンラインの方は見られますか。

事務局：画面共有させていただいております。左側に移っているのが案1で、右側が案2となっております。

会 長：では案1が良い人。もう聞くまでもないですね。では一新して、明るいこちらの案1で。ありがとうございました。最後に次回以降の審議会の開催日程について、資料3に基づいて事務局よりお願いいたします。

### 3 次回開催日程等

事務局：それでは資料3、令和2・3年度葛飾区男女平等推進審議会開催日程（案）をご覧ください。次回3回目の審議会は11月19日（金）午後2時からの開催を予定しております。3回目は第6次計画原案の区長への答申を行いますので、是非ご出席いただきたいと思います。お忙しい中恐れ入りますが、どうぞよろしくお願いいたします。また、重ねて本日のZoom対応の不手際につきましては、大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。本日はありがとうございました。

### 4 閉 会

会 長：それでは本日の審議会は、これにて終了とさせていただきます、閉会いたします。長時間にわたり積極的にご意見をたまわりまして、本当にありがとうございました。